

○一般社団法人 日本森林学会 2014年度第3回(通算450回)理事会議事録

日時:2014(平成26)年9月12日(金)13:00~17:30

場所:東京都千代田区六番町7 日林協会館 4階 中会議室

開催者:大河内勇

出席者:大河内勇会長, 中村太士副会長, 正木隆, 田中浩, 石田清, 福田健二, 太田祐子, 阿部恭久, 佐藤宣子, 竹中千里各常任理事, 戸田浩人, 石塚和裕, 船田良, 松本光朗, 柴田銃江, 伊藤哲, 小島克己各理事, 高橋正通監事, 上野真義, 南光一樹, 小松雅史, 當山啓介, 菊地賢, 加賀谷悦子, 篠原慶規, 吉田智弘各主事, 佐藤肇(林野庁)オブザーバー, 稲村崇子(事務局)

議長:大河内勇

審議事項:

本理事会で議論・決定された事項は以下の通りである。

1. 日林誌のインパクトファクター取得について

石田理事より, 日林誌編集委員会での議論にもとづき日林誌のIFを取得することについて提案があった。これに対して石塚理事よりインパクトファクターを取得することによるメリットとデメリットを整理した上で提案してほしいという意見が出され, 次回の理事会で再審議することとなった。

2. 日本森林学会学生ポスター賞授与内規について

佐藤理事より, 第125回大会(東京大学)における学生ポスター賞の運営に関する意見を踏まえて, 授与内規の審査項目(C)発表技術を削除したいとの提案があった。これに対して, 発表技術の審査はコアタイム中に限られるため審査員の負担が大きいことから削除することに賛成の意見が出された一方で, ポスターそのものの優劣ではなく発表技術を含めて判断するべきであるという意見が多く出された。審議の結果, 現行の内規通り発表技術を審査項目に含めることとなった。

3. 日本森林学会学生ポスター賞受賞ポスターの取り扱いについて

佐藤理事より, 日本森林学会学生ポスター賞受賞ポスターのポスター会場での掲示後の取り扱いについて, 本人の承諾が得られた場合は掲示後に破棄することにしたいとの提案があり, 審議の結果, 承認された。

4. 学会各賞の投票結果の送付先の変更について

佐藤理事より, 学会各賞の選考結果の送付先を表彰主事宛から事務局宛へ変更したいとの提案があり, 承認された。

5. 学会各賞の副賞(盾)の廃止について

佐藤理事より, 功績賞, 学会賞および奨励賞の副賞(盾)を廃止したいとの提案があった。これに対して大河内会長から, 形のあるものを贈呈する必要があるとの意見が出され, 審議の結果, 副賞(盾)の廃止については見送られることとなった。

6. 学会各賞の賞状の作成について

佐藤理事より, 学会各賞の賞状の作成について手書きから印刷へ変更したいとの提案があり, 審議の結果, 承認された。

7. 理事会議事録の承認

2014年度第1回臨時理事会(2014年3月26日開催), 2014年度第2回理事会(2014年5月29日開催), 2014年度第3回メール理事会(2014年6月24日提案), および2014年度第4回メール理事会(2014年7月19日提案)の議事録が承認された。

8. 次回理事会について

第451回理事会を12月に開催することが決定された。

報告事項:

その他, 下記の報告が行われた。

1. 第125回日本森林学会大会報告

田中理事(第125回大会運営委員長代理)より, 2014年3月26日~30日に大宮ソニックシティ(一部東京大学)で開催のあった第125回大会の正式な決算報告が行われた。100周年記念事業の正式な決算報告は次回の理事会で行うとの説明があった。

2. 第126回日本森林学会大会準備状況報告

中村理事(第126回大会運営委員長代理)より, 第126回大会(北海道大学)について, 開催準備状況および予算案についての報告があった。

3. 第127回日本森林学会大会準備状況報告

阿部理事(第127回大会運営委員長代理)より, 第127回大会(日本大学)について, 大会日程および大会運営委員会組織についての報告があった。

4. 会計担当からの報告

田中理事より, 上半期の決算および名簿作成ウェブ登録システムの見積報告があった。

5. 日林誌編集担当からの報告

石田理事より, 日林誌の編集・審査状況について報告があった。また日林誌のスクープの作成, 原稿種別の改訂, および日林論の復活について意見交換が行われた。

6. JFR編集担当からの報告

福田理事より, JFR編集体制, 出版状況, JFR論文賞選考委員会の組織, 出版契約の更新・入札, および科研費の申請予定について報告があった。またJFRの2012年のインパクトファクターが1.009となったことが報告された。

7. 森林科学編集担当からの報告

太田理事より, 森林科学72・73号の編集・発行状況, 新シリーズ「林業遺産紀行」の開始, および定期購読者(個人準会員)へのアンケート結果の報告があった。

8. 企画・広報担当からの報告

阿部理事より, 日本森林学会メールマガジンの発行状況, jfs-mailのアドレスリストの更新について報告があった。

9. ウェブサイト編集担当からの報告

正木理事より, ウェブサイト更新作業報告があった。

10. 表彰担当からの報告

佐藤理事より, 各賞について学会推薦候補者の推薦と決定, 学会賞の応募状況, 学生ポスター賞の運営に関する東京大会での意見について報告があった。

11. 男女共同参画担当からの報告

竹中理事より, 10月4日に開催予定の第12回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム

での資料集原稿(「日本森林学会における男女共同参画の取り組み」)について報告があった。

12. JABEE担当からの報告

戸田理事より、平成26年度JABEE農学系分野審査講習会および森林・自然環境技術者の人材育成に関するシンポジウムの検討状況についての活動報告があった。

13. 国際交流担当からの報告

松本理事より、学会ウェブサイトの英語ページの充実、学術大会の英語環境の改善等、活動報告があった。

14. 国内研究機関連携担当からの報告

柴田理事より、地方研究機関の学会参加の実態把握について、学会員名簿および日林誌発表論文をもとに集計した結果について報告があった。今後は、地方研究機関会員への聞き取り調査などを通して、地方研究機関の学会参加の実態把握に努める予定であることが報告された。

15. 木材学会からの報告

船田理事より、第65回日本木材学会(東京大会)および木材学会創立60周年記念事業の準備状況および「日本木材学会優秀女子学生賞」の設立に関して報告があった。

16. 社会連携委員会からの報告

正木理事(社会連携推進委員会委員長代理)より、農学分野の参照基準において用いる基本構成分野名称を「林学・林産学」から「森林学・林産学」と修正したこと、文部科学省「科学技術予備調査(デルファイ調査)」への協力依頼、および社会連携推進委員会名簿について報告があった。

17. 中等教育連携推進委員会からの報告

中村理事より、中等教育連携推進委員会の新体制の発足および6月6日に東京大学で開催された第一回委員会の報告があった。また高校生ポスター発表を定着させることを今年度の活動目標とすることも報告された。

18. 林業遺産選定委員会からの報告

伊藤理事より、林業遺産の選定についてのプレスリリースとその反響および『森林科学』における林業遺産紹介について報告があった。プレスリリースに関しては今後も継続して行っていく方針であることが報告され、時期については定時総会での発表後に行うことが確認された。

19. プログラム編成委員会からの報告

小島理事より、第126回森林学会におけるテーマ別シンポジウムの募集をしたところ、企画シンポジウム17件、公募セッション8件の申込みがあったこと、また採否については、プログラム編成委員会において審議中であることが報告された。

20. 総務担当からの報告

正木理事より、今年度の会員名簿作成の進捗状況および会員動向についての報告があった。

議事録作成者: 正木隆, 上野真義